

国立大学法人鳴門教育大学が求める事務職員像

国立大学が法人化され、大学の主体的な判断と自己責任のもとに大学を運営し、その説明責任を果たすことが強く求められてきた。しかしながら、本学では、必ずしも的確な状況判断のもとで機動的な大学運営ができたとは言い切れない。

この課題を解決する大きな要素の一つとして、大学マネジメント業務を担う事務職員が、大学の理念を理解し、常に自己研鑽に励み、従来からの意識・姿勢を変えることが挙げられる。このような意識改革が、大学発展の基盤となる柔軟で力強い組織を創り出し、かつ、その体制が確立されることによって初めて、大学の目的を達成することができると思う。

このことから、本学では、次に掲げる事務職員を目指して行動し、自己の成長と組織への貢献により、大学の価値を継続的に高めることができる人材を求める。

1. 現状を的確に把握し、明確かつ具体的な課題や目標を自らが設定し、その目標に対して熱意と向上心を持って積極的にチャレンジし、実現できる力を持つ職員
2. 目的・目標を明確にしたビジョンを創出し、問題点を発見・分析しつつ、その解決に向けて粘り強く取り組み続けることができる職員
3. 常に専門性を磨き、柔軟な姿勢と豊かな想像力を持って、他の教職員と積極的に協働しながら行動できる職員
4. 自ら持っている能力（知識・スキル等）の向上に取り組みつつ、組織の力に変えることのできる職員
5. 外的圧力に対して、しなやかで強い精神力（メンタルタフネス）を維持できる職員
6. 学生が求めていることを敏感に察知し、学生の立場に立って行動するとともに、常に誠実な気持ちでサービスを提供し、学生から信頼される職員
7. 高い倫理意識を持ち、サービス・規律を遵守し、一個の社会人として、必要な知識、モラル、マナー及びコミュニケーション能力を兼ね備えた職員

平成21年11月5日

国立大学法人鳴門教育大学長

高橋 啓